

# 森林居住環境整備事業 西吉野地区（奈良県）概要図



林道整備（開設）	
⑤川岸鹿場線	
幅員	3.0m
事業量	L=604.0m

林道整備（開設）	
バロー線	
幅員	3.0m
事業量	L=687.0m

用水施設整備	
川岸地区	
事業量	1式

林道整備（開設）	
ウツギ谷線	
幅員	3.0m
事業量	L=1,142.0m

林道整備（開設）	
川股天辻線	
幅員	4.0m
事業量	L=1,613.0m

林道整備（開設）	
殿野坪内谷線	
幅員	4.0m
事業量	L=1,725.0m

林道整備（改良）	
殿野坪内谷線	
幅員	4.0m
事業量	L=550.0m

事業種目	番号	林道区分	路線名	開設延長				
				H12	H13	H14	H15	H16
林道開設	①	森林基幹道	川股天辻線			786	0	827
林道開設	②	森林基幹道	殿野坪内線			622	980	123
林道開設	③	森林管理道	ウツギ谷線	325	190	187	440	0
林道開設	④	森林管理道	バロー線	141	55	140	187	164
林道開設	⑤	森林管理道	川岸鹿場線	0	0	158	202	244
林道改良	⑥	森林基幹道	殿野坪内線			234	135	181
用水施設整備			川岸	1式	1式			

# 完了後の評価個表

整理番号	10-1
------	------

事業名	(林業地域総合整備事業) 森林居住環境整備事業	都道府県	奈良県
ふりがな 地域(地区)名	かみきたやま 上北山地区	事業実施主体	上北山村
関係市町村	上北山村	管理主体	上北山村
事業実施期間	H13 ~ H17 (5年間)	完了後経過年数	6年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 本事業実施地区は、上北山村の区域を対象とする。当地区は、奈良県の東南部に位置し、人口は939人、区域面積27,405haと県下第2位の山村である。本村の東部は三重県北牟婁郡に、西は八剣山を中心として南北に連なる大峰山脈をもって天川村、五條市、十津川村の各市村に、南は下北山村に、北は伯母峰をもって川上村に接している。</p> <p>② 森林の状況 当地区の森林面積は26,595haである。このうち、国有林2,179ha(8%)、民有林は24,416ha(92%)で人工林面積は9,567haであり人工林率は36%である。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 当地区においてはこれまでに9,567haの人工林が造成され、森林の蓄積は着実に増加しているものの、その多くは保育・除伐及び間伐の必要な段階にある。森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下が懸念される中で、森林の有する公益的機能の高度発揮に対する期待が高まっているところである。 また、当地区には、森林整備を効率的に実施するための基幹的な林道等の路網が十分でなかったことから、森林施業への遅れが目立っていた。 このため、森林の公益的機能の高度発揮を目的として、森林整備の必要な森林への到達時間の短縮、労働力や資材の効率的な移動等により林業労働の軽減及び森林施業コストの低減を図り、適切な森林整備を促進することを目的に林道を整備した。</p> <p>(事業概要)</p> <p><b>森林基幹道整備</b> とちたにしのだに ① 椽谷西ノ谷線 車道幅員 3.0m 改良延長 3,430m ② サンギリ線 車道幅員 3.0m 改良延長 1,002m</p> <p><b>森林管理道整備</b> とちたにこどころ ① 椽谷小処線 車道幅員 2.0m 開設延長 1,339m 利用区域面積 240ha みずぶとわさまた ② 水太和佐又線 車道幅員 2.0m 改良延長 592m わさまた ③ 和佐又線 車道幅員 3.0m 改良延長 140m いずみだに ④ 和泉谷線 車道幅員 2.0m 改良延長 100m</p> <p><b>集落林道整備</b> つじどうやま ① 辻堂山線 車道幅員 2.0m 改良延長 2,857m</p> <p>総事業費：1,004,000千円 (当初総事業費 1,000,000千円)</p>
----------	--

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成24年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 平成16年の台風等により法面状況が悪化し、通行等の安全を図るため事業計画を変更したことにより、総事業費が増加している。(追加路線：和泉谷線)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">総 便 益 (B)</td> <td style="width: 30%;">6,985,962千円</td> <td style="width: 30%;">(事業採択時 1,474,371千円)</td> </tr> <tr> <td>総 費 用 (C)</td> <td>1,596,519千円</td> <td>(事業採択時 938,577千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>4.38</td> <td>(事業採択時 1.57)</td> </tr> </table>	総 便 益 (B)	6,985,962千円	(事業採択時 1,474,371千円)	総 費 用 (C)	1,596,519千円	(事業採択時 938,577千円)	分析結果 (B/C)	4.38	(事業採択時 1.57)
総 便 益 (B)	6,985,962千円	(事業採択時 1,474,371千円)								
総 費 用 (C)	1,596,519千円	(事業採択時 938,577千円)								
分析結果 (B/C)	4.38	(事業採択時 1.57)								

② 事業効果の発現状況	<p>① 林道により、施業地へのアクセスが容易になり、林業従事者の労働条件の改善が図られ、森林所有者の林業経営に対する意欲が向上している。</p> <p>② 人工林に対する保育間伐の実施が進んでいる。</p> <p>③ 本林道の改良により、台風災害発生時において、県道の長期通行止め時の迂回路として利用され、安全な走行の確保が図られた。</p> <p>④ 林道法面の改良により、崩落土砂や落石の除去等にかかる維持管理費費用の縮減が図られた。</p>
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>当事業により開設された林道及び施設は、上北山村が林道管理規程に基づき管理しており、維持管理状況は概ね良好である。</p>
④ 事業実施による環境の変化	<p>林道により、施業地へのアクセスが容易になり、林業従事者の労働条件の改善が図られ、高齢者でも軽四輪、バイクで簡単に見回りや整備現場に行けることから、森林所有者の林業経営に対する意欲が高まっている。</p>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林道が整備され、林業労働の軽減や高性能林業機械の導入が可能となり、利用区域内の森林の整備が進み、間伐材の搬出等木材生産活動も活発になってきている。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林所有者の森林整備の取組や林業経営意欲も徐々にではあるが改善されてきている。しかし、木材価格の低迷により、必要な間伐等の整備が十分とは言えない状況である。今後も当該林道の整備により、施業の集約化や高性能林業機械の利用を進め、効率的かつ低コストな施業の推進を図る必要がある。</p> <p>・地元の意見： 林道が整備されたことにより、森林所有者の林業経営に対する関心が高まっている。 今後さらに、森林施業や木材の搬出が促進されるよう普及啓発に努める。（奈良県） 林道の整備により、森林整備が促進されており、また、改良事業実施による通行安全が確保され、地域生活の安定が確保されている。（上北山村）</p>
評価結果	<p>・必要性： 森林へのアクセスの向上、効率的な森林整備や木材生産等の実施を図るため、基盤となる路網の整備、林業集落住民の通行の安全の確保を図り、安心して林業活動ができる施設整備が求められていたものであり、事業の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 林道等の計画にあたっては、森林施業の効率的な実施のための線形の検討、コストの低減のための現地の条件に適した効果的な工種・工法で実施し、事業実施の効率性を図っている。</p> <p>・有効性： 林道により、施業地へのアクセスが容易になり、林業従事者の労働条件の改善が図られており、森林の整備状況、林業労働者の安全が確保されていることから有効な施設であると認められる。</p>